

テーマ『SAVE THE GLOBAL ENVIRONMENT WITH ROTARY CLUB』  
『地球を困らせないために、今私たちに出来ること』

ホストクラブ：大阪北梅田RC

日時：2010年2月6日(土) 午前11時10分～

場所：ウェスティンホテル大阪

出席者：大谷透G・菅生浩三PG・宮田宏章PG・神崎茂PG・大森保子G補佐(第2組)・

西垣文雄G補佐(第3組)・井上隆晴G補佐(第5組)・重里國麿G補佐(第6組)・

青木禎一郎G補佐(第7組)・四宮孝郎地区代表幹事・IM第5組各RCメンバー・

オブザーバー

出席者：293名

会長

白石 章

(大阪北梅田RC)

IM実行委員長

寺岡 龍彦

(大阪北梅田RC)

「地球を困らせないために、今私たちに出来ること」をテーマとして、自然破壊・環境問題など、危機に直面する地球の姿に触れ、私達に何が出来るかを個人、企業人そしてロータリアンの立場から真剣に考え、自ら実践する手がかりを1つでも多く見つけて頂くことを期待して開催しました。

プログラムの内容上、長時間の会議となるため、10時より1時間程のランチタイムを設け、「I LOVE 地球-地球は宇宙の贈りもの-」の音楽をお聞き頂きながら、今回のテーマへのプロローグとしました。

本会議場前には、テーマブースを設置、電気自動車を展示し、環境省・出演企業からの冊子を配布しました。会議場には暗い宇宙に浮かぶ私達の美しく青い地球を保全すべくロータリーの歯車が地球の周りを回るロゴを配し、宇宙から静かに地球を眺め深く考えるに、相応しい雰囲気を作りま

した。

開会式では、大谷Gがご挨拶の中で、1992年リオで開催された地球環境サミットに於いて、12歳の日系女子が6分ものスピーチの中で訴えた心からの叫びに言及され、「どうやって直すのかわからないものを壊し続けるのは止めて下さい。あなた達大人が本当に私達子供を愛しているというなら、それを行動で示して欲しい」と引用されました。その言葉は、正に今から始まろうとする会議につきつけられた重い質問状となりました。

第一部の基調講演は『低炭素経済に向けて～エコハウスから見てきた“半分でいい”暮らし方～』と題して、環境事務次官 小林光氏にご講演頂きました。2009年末に開催されたCOP15の国際交渉の実体とコペンハーゲンの合意ポイント、国益を得る為のハザードに対する国民意識の低さ、温暖化による自然環境に及ぼす影響の実態情



報の不足と不確かさ、そして負のイメージだけでなく、明るい未来ととられる環境ビジネスチャンスについて詳しくお話下さいました。後半は実際にご自身が断熱・空調などの基本設計、省エネ家電の導入等ありとあらゆる工夫を取り入れた最新のエコハウスを完成され、現在ではエコハウスマートグリッドそのものを実践、その結果エネルギー25%減を達成された経緯や、楽しいエコを続けるコツを詳しい写真入りでご説明頂き、私達もやってみようと思わせて頂きました。

第二部では、アメリカ合衆国元副大統領アル・ゴア氏が地球危機に警鐘を鳴らしたドキュメンタリー映画『不都合な真実』の抄訳版を上映し、人類が招いた環境破壊の現実を見つめて頂きました。

第三部パネルディスカッション「地球環境問題で企業ができること」では、地球環境に配慮した社会を作るために変身を迫られている企業に対する世界の潮流や取り組みの現状、将来展望等話し合っていました。パネリストには末吉竹二郎氏（国連環境計画 特別顧問）、濱隆氏（大和ハウス工業株式会社 取締役常務執行役員）、蛭田道夫氏（三菱電機株式会社 環境推進本部長）、松田憲二氏（ユアサM&B株式会社 代表取締役社長）、コーディネーターには清水正巳氏（日本経済新聞社編集委員）をお迎えしました。前半は各パネリストによる発表があり、大企業の再生エネルギーの最新技術の状況、グローバル社会で競争に勝てる技術の開発状況について、私達に身近な太陽光パネル・熱外壁・ガラス・通気構造等を組み合わせた最も進んだエコハウス技術も含め画面上でご披露頂きました。後半は現時点での問題点とその解決策に焦点が置かれ、世界的な視点から、現在日

本政府・企業は環境経済に対する危機意識が薄く、このままでは世界の競争に負けるのではないかとの懸念と、その一方で企業のCO<sub>2</sub>排出量に対するグローバル基準が課せられれば、日本企業は必ず勝ち残れるだけの科学技術を有しているという有望性が強調されました。

今こそ多くの環境関連事業を抱えている関西を、再生エネルギーで日本中・世界中にアピールする時であり、今回参加のロータリーの皆様こそがリーダーとしてこれを機に大いに意識改革をし、環境問題に一層取り組んで頂きたいとのメッセージを頂きセミナーを終わりました。大谷Gからのお礼とご講評を兼ねて「現代社会に於いて環境問題に精励することが、即ロータリーの精神に合うことだ」とのご感想と高いご評価を頂きました。

最後に大阪北梅田RCからのアピールタイムを設けて、世界のロータリアンに向けて本年度RIのテーマ『THE FUTURE OF ROTARY IS IN YOUR HANDS』を基に『THE FUTURE OF EARTH IS IN OUR HANDS!』（地球の未来はロータリアンの手の中に！）と地球への愛を声高く宣言して閉会致しました。

親睦会では、お食事をお楽しみ頂きながらの歓談の輪が広がりました。「個人としてあるいは企業人として何か出来る、いや、やってみようという勇気と希望を頂けた」などのご感想を頂戴致しました。「かけがえのない地球を守ることは、今世紀人類に課せられた最大の役割と責任である」と改めて心に刻みました。最後に世界中のロータリアンが共に行動できますよう、そして私たちRI第2660地区第5組からのメッセージが大ムーブメントに発展します様に祈念して終了致しました。



撮影：寅貝真知子